



ひろみ通信

—第4号—



木枯らし吹く季節。今年も残すところ1カ月です。
皆さま、いかがお過ごしでしょうか？ 小川ひろみは、春の統一地方選挙で市議に復活いたしました。早いものであれから半年。押し上げていただいた皆様のご期待に応えるべく、精一杯活動しています。自転車で市内じゅう走り回っていますが、見かけたら呼び止めて、いつでもお声をかけてください！

温故知新！ かけがえのないものを次世代に繋ぐ



国立市議会の議場にて。
最前列、左から2番目の席に座しています！ インターネット中継もありますが、行政に迫るナマの議会を見に、どうぞ、お出かけください。

今年5月より、ひとり会派「耕す未来@くにたち」で活動をスタートさせました。常任委員会は、景観・環境保全・都市農業に力を注ぎたいと考え「建設環境委員会」に所属しました。5月半ば、再築中の旧国立駅舎内覧会に参加。13年前（2006年）、駅舎機能を終え解体に向かう旧駅舎内で無力感を抱いた私にとって、再築された旧駅舎の中に立っていることは夢のようでした。しかしこの夢の実現は、市民や地元商業者たちのたゆまない再築への願いと行動によって掴んだ結果です。

旧駅舎が、これからのくにたちにとって“個性”を活かすシンボルとなり、まちの賑わいに繋がるよう、私は提案していきます！

10月、建設環境委員会で、市町村合併をせず独自のまちづくりをすすめてきた新潟県見附市（人口約4万人）を視察しました。見附市は、「歩いて暮らせるまちづくり」の取り組み等により、今年7月、SDGs未来都市に選ばれています。

また、同県長岡市（約27万7千人）のまちなか庁舎「アオーレ長岡」を訪問。市役所・議会棟・ナカドマ（屋根付き広場）・アリーナ・劇場のすべてが隈研吾氏による和のデザイン。美的で、かつ徹底した住民本位にはたくさんの学びがありました。



1階、ガラス張りの長岡市議会。ナカドマ広場から見える！

【12月議会開催期間 12/3~23】

★小川ひろみの一般質問 日時：12月9日（月）14:30～ 場所：市役所・議会棟

- レッツ！傍聴
- 1、台風19号からの教訓を生かすー「避難所」での問題・情報伝達の方法・防災安全課の人員は足りているか
 - 2、教育としての学校給食はPFIでよいのかー新センターがハザードマップ浸水区域にある心配について
・小平市でPFI入札不調になったことから国立市のPFIも見直すべきではないか
 - 3、赤い三角屋根の旧駅舎とくにたちの賑わいについてーJRとの協議の現状・南口複合公共施設のこれから



これまで経験したことのないような巨大な「温暖型台風」が、何十年に一度ではなく、毎年、日本列島を襲うようになっていきました。台風19号では、堤防決壊は7県71河川におよび、住宅被害は9万棟近く。避難者はピーク時、約23万7千人。今も2千人を超える方が避難生活を余儀なくされているように、誰もが他人事ではなく自分事として恐ろしく感じたのではないのでしょうか。近年の異常気象による災害、農作物・生態系の変化などの実態をみれば、気候変動による非常事態が起きていると、私たちは認めざるをえません。

10月12日、国立市にも「大雨警報・洪水警報・暴風警報」が発令。テレビでは「東京都は警戒レベル5。命を守る最善の行動をお願いします」。雨脚が強まり、個々人のケータイに警報音がひんぱんに鳴り響き、緊張が走りました。12:40、「災害対策本部」が設置され、16:30、多摩川浸水想定区域内の世帯、約1万人に対し「避難準備・高齢者避難開始情報」が発令されました。

私は、フェイスブックとツイッターなどSNSで情報を発信していたところ、予想以上に市民の皆さんから危機感や不安が寄せられました。これこそ、次なる教訓の大切な情報ですので、ここにご紹介します。

12月議会の質問に活かすとともに、市に対しては、被害の追跡調査と防災安全課の体制の充実を求めています。



<情報伝達について>

・防災行政無線が、まったく聞こえない／市内を回っていた車の避難所開設等の内容も聞き取れなかった／ケータイの警報音が怖かった／国立市のツイッターは少なかったのでは？



<避難所について>

・避難所の開設が12時というのは遅いのでは。午前中から開けても良かったのでは？／「自主避難所」(注1)となる3中や6小がハザードマップの浸水想定区域にあるのは大丈夫？／「一時避難場所」(公民館・福祉会館・中央図書館・高架下の市民プラザなど)を今回開放した理由が不明確／災害時要援護者のための「福祉避難所」は足りている？／

職員による各避難所運営はスムーズだったか。日頃訓練している地域の避難所運営との連携はどうだった？／2小、3小、8小はなぜ自主避難所にしなかった？／東地域の住民はどこに避難するのか？／イヌ・ネコは同行できたのか？／自家用車で避難所へ移動できたのか？／雑魚寝と段ボールの避難所生活でよいのか？なぜテントを用意しないのか？



<その他>

・洪水ハザードマップ(注2)で浸水地域に、特別養護老人ホームや福祉施設が多いのが気になる／新給食センター建設予定地は、ハザードマップで「2階床下までつかかる程度=3m浸水」の地域にあるのは心配。／子どもの安全を考えて、保育園は休園にすべきだったのでは(日野市は休園)



注釈1：【自主避難所】台風19号では職員によって7か所を開設。避難者の健康管理や女性への配慮のため、各自主避難所に保健師(女性)を1名ずつ配置した。第1小学校-162人、4小-28人、5小-80人、6小-43人、7小-61人、千丑集会所-0人、谷保東集会所-8人 合計382人(12日、22時時点)
注釈2：国立市洪水ハザードマップ【多摩川・外水氾濫】は公開されています。自分の住む地域のありよう、また避難所の場所などの確認を、必ずしてください！ご家族やご友人にも伝えてください。【国立市洪水ハザードマップ】国立市HP



スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん(16)は9月、ニューヨークで開かれた国連気候行動サミットで地球温暖化に本気で取り組んでいない大人たちを叱責した。2019年、忘れたくない言葉、まなざしである。

数十年に一度あるかないかの巨大台風、しかしこの「温暖型台風」は今後常態化すると言われていた。これまでの経験だけでは判断が難しくなった。被災は人ごとではない。皆口々に怒る少女(グレタさん)の話になっていった。

浸水被害の大きかった現地に入って驚いた。その範囲の何と広いことか。いわき市中心街から国道沿い数キロのベッドタウンである。いくらなんでもここまで浸かるとは想像を超えていた。それほど広大なエリアがあつという間に湖水状態になったのである。

さて下流域の街では、深夜、雨も小降りになった、そろそろ休もうかという時に、「2階に居て気がつく」と階段まで水が上がって1階は水没していた。「横になったら背中が冷たいなと思つたら水だった」との証言からも、瞬間に水が上がってきたようだ。

福島とつながる種まきネット
根本敦子



1954年制定の「学校給食法」が、半世紀を経て、2008年に改定された背景には、食をめぐる昨今の情勢の変化があります。子どもたちに給食を提供することで、「適切な栄養の摂取による健康増進」を保つ責務に加えて、改正法では、「健全な食生活を営むことができる判断力と望ましい食習慣」を身に付けること、つまり「食育」を重んじる観点が入り込められました。

いま、国立市では、老朽化した学校給食センターの建替えにあたり、PFI手法を導入する提案をしています。新センターの設計・建設・改修・更新・維持管理・調理・運営のほぼすべてをPFIに委ねる内容で、15年の長期契約。国立市はそれにより約1億5千万の費用削減効果を見込んでいます。

そのような中、教育としての学校給食を地域連携で進めてきた保護者や市民から、給食の質が下がるのではないかと不安の声が高まっています。9月議会に出された陳情（「子どものいのちを支え、育ちを見守る学校給食の提供の継続を求める陳情」）は、10対10の同数で、議長採決に持ち込まれるほど議会も二分しているのが現状です。

第一給食センター 31名 (小学校8校・約3500の食) 事務職 3名 栄養士3名(正職1、臨時2) 調理員25名(内、正職3)		第二給食センター 18名 (中学校3校・約1500の食) 事務職 1名(再任用職員) 栄養士2名(正職1、嘱託1) 調理員15名(内、正職1)	
--	--	---	--

ついにやるよ

市の栄養士がPFIの調理員に直接指示ができなくなる!

【PFIって? - Private Finance Initiative (民間資金主導)】

財政ひっ迫の折、老朽化したインフラを短期間に整備するための唯一の解決策と銘打って、1990年代初頭から登場した手法。日本「PFI法」は1999年に制定されている。

しかし、PFI発祥の地イギリスで、英国会計監査院は、昨年、「PFIの費用対効果と正当性に関する調査報告」を行った。「多くのPFIプロジェクトは、通常の公共入札のプロジェクトより40%割高」「25年経験したが、公的財政に恩恵をもたらすというデータは不足」とまとめている。

「経済成長のために公共事業を売る」ことになった反省から、欧米では、住民サービスの再公営化の流れにあるという。

国立市の子どもたちが毎日食べる学校給食を民間に任せるのは拙速ではないでしょうか。

くにたちはこれまで、先駆的に都市農業を振興し、農商工連携で「農業・農地を活かしたまちづくり事業」も実施してきた経過があります。いまでこそ、まちぐるみで子どもの食育をすすめる環境が整ってきたのに、給食だけ切り離すのはもったいないです。そのためにも、教育委員会と国立市は一度立ち止まって、PFIへの全面委託を見直す方法を考えるべきです。



あたたかい眼差しを向ける社会・ソウル市

酒井 幸子
(国立市在住)

三年振りのソウル。古の王朝の宮殿であつた景福宮の後方に美しい北漢山が眺められると、またソウルにいられたことをいつも感動する。今回は単なる物見遊山ではない。小川さんに紹介していただいた「希望連帯」という団体主催の「ソウル市の有機農産物使用の無償給食」実態調査への参加。経験したことがない楽しみと緊張の旅であつた。

ソウルでは官民共に多くの関係者クチャールを受けた。役職に就く若い男女が澆刺と説明をし、我々の多岐にわたる質問にも丁寧に答えてくれた。日本では有機農産物使用無償給食なんて実現不可能と思つていた。ソウル市も施行までに多くの反対や困難があつたと思うが、彼女らが奔走し実現させたのである。彼女らだけでなく安全な給食は子どもの健やかな成長を願うすべての親たちの変わらぬ想い、それも平等に。有機野菜利用は農業者の生活安定や雇用促進という経済的効果にも貢献したとの話。食材を有機農産物(韓国園では「親環境農産物」)に替えた保育園園長の自信に満ちた笑顔が忘れられない。

今回の訪問では、ほんの少し韓国社会に触れただけだ。でも子どもを含めた社会的弱者にあなたかいい眼差しを向ける社会だといふ。気が付いた。ソウル市は、市民と市民の交流の意義は流さない。



ソウル市内の保育園園長先生たち。オーガニック作物の美味しさと安全性への信頼、ソウル市の公共調達システムへの高い評価を熱く語った。ソウル市「東北4区公共給食センター」にて。10月22日



ざっくばらんに！～新春の集い&シネマトーク～

2020年1月18日(土)@コミュニティスペース旭通り

★どちらも申し込みはいりません。/お問合わせ先：080-3396-1491

第一部 新春！お楽しみ映画会

エキブ・ド・シネマ (岩波ホール) 45周年記念作品

◆映画 『12か月の未来図 (Les Grands Esprits)』

(オリヴィエ・アヤシュ＝ヴィダール監督・仏・2017年・107分)

超エリート国語教師が、田舎町へ乗り込んだ。
試されたのは、実は、教師だった！
年初めに、コメディ作風のフランスの作品を。

皆さま、お出かけください。

参加費：500円

<上映時間>

1回目：10:00～11:50 (9:40開場)

2回目：13:00～14:50 (12:40開場)

第二部 新年会

15:30～(15時開場)

「ソウル市オーガニック無償給食 及び都市農業視察報告」

報告：小川ひろみ

参加費：1,000円

(オーガニック鯖スープ&おむすび付き)

ソウル市運営の市民農園
は、無農薬・無化学肥料・
無ビニール！



小川ひろみの活動日誌



- 4/21 国立市議会議員選挙に当選 (1214票)
→◆4/22 当選証書授与
- 5/10 TOKYO#21 市民連合 キックオフ
- 5/12 国立市北3第2自治会・総会
- 5/16 ◆本会議：議長・副議長選挙
- 5/17 選挙お疲れさま会
- 5/21 ◆旧国立駅舎 内覧会
- 5/23 三多摩議員ネットワーク定例会
- 5/24 ◆東京都三多摩上下水道及び道路建設促進協議会 総会
- 6/5 ◆6月議会
- 6/7 小川・一般質問
- 6/13 「石塚議員のセクハラ等の事実の徹底究明を求める陳情」を採択
- 6/14 「辺野古新基地建設の中止を求める陳情」を採択
「消費税増税中止を求める陳情」を採択
- 6/23 三多摩たべもの研究会・総会
- 6/29 福島とつながる種まきネット・福島県視察 (帰還困難区域)
- ~6/30 二本松市ふくしま夢ワイン工房見学
- 7/3 「くにたち映画館をふたたび」実行委員会
- 7/7 福島とつながる種まきネット・総会
- 7/19 「わくフェス」実行委員会
- 7/21 参議院選挙投票日
- 7/24 「地域医療計画 市民勉強会」@ひらや照らす
- 7/30 ◆三水協@東京自治会館・府中
- 7/31 小川ひろみ 議会報告会
- 8/3 第6回福島キッズエコキャンプ@恵泉女学園大学 (多摩市)
- ~8/5 ボランティアスタッフ
- 8/7 くにたちの学校給食を考える「わくわく塾」開催@国立公民館
- 8/16 旧駅舎を生かしたまちづくり第1回ミーティング
- 8/18 「希望連帯」韓国ソウル市広津区「貧困解消と居住福祉」
- ~8/21 視察・ソウル市長と面会
- 8/26 ◆議員研修 廣瀬和彦先生「議員が守るべき政治倫理とは
～セクハラ・パワハラの根絶をめざして」
- 8/31 国立市内街宣 (議会ご案内)
- 8/29 ◆9月議会
- ~9/19
- 9/4 小川・一般質問
- 9/9 「学校給食 PFI 導入に関する陳情」→賛成 10 対反対 10、
議長採決で否決
- 9/10 「水道事業民営化に適切な対応を求める陳情」を採択
「核兵器禁止条約への署名と批准を求める陳情」を採択



いたる所にあった
フレコンバックの山



- 9/28 防災訓練@国立第4小学校
- 10/3、4 ◆決算特別委員会 (2018年度)
- 10/7、8 →12月議会で討論
- 10/5 「くにたち映画館2019一語り愛たい10日間」
- ~10/14
- 10/11 「青の帰り道」上映&藤井道人監督トーク
- 10/9 ◆「石塚議員の新たに生じた疑義等に関する調査特別委員会」
設置→12月議会初日で報告
- 10/12 台風19号の対応 →防災記事(*2面)
- 10/16 ◆建設環境委員会
- ~10/17 ・新潟県長岡市と見附市視察(*1面)
- 10/20 韓国ソウル市「無償・オーガニック給食」
現地視察
- ~10/23 ◆全国平和首長会議国内加盟都市会議@国立市
- 10/24
- ~10/25
- 10/25 院内集会・西尾正道先生講演「放射能汚染・トリチウム」
- 10/27 北3第2自治会文化部主催 池袋サンシャイン水族館へ
「表現の不自由展 中止問題を考える」@藝大キャンパス
- 10/30
- 11/4 くにたち市民まつり 種まきネット福島物産出展
- 11/6 小川ひろみ 議会報告会
- 11/9 ◆「市民の意見を聞く会」@市役所ロビー /
- ~11/10 「国立市農業まつり&消費生活展」
- 11/14 三多摩議員ネットワーク
- 11/16 「旧国立駅舎再築記念シンポジウム」@芸小ホール
- 11/19 「生活保護業務適正化に関する調査検証委員会」傍聴
- 11/21 介護予防自主活動グループ発表会「第1回 地域で元気フェスタ」@芸小ホール
- 11/24 ごみゼロデー / ◆子ども議会開催
- 12/1 三多摩たべもの研究会・澤登早苗先生の連続講座第一回
「ブドウを育て、キウイフルーツを育て、学生を育てる」
- 12/3 ◆12月議会
- ~12/23
- 12/9 小川・一般質問



広島市の松井一実市長と



募集中心！ 小川ひろみ後援会に参加して活動を支えてください。



- 例えば、
- ◎月1回の会議への参加
- ◎「ひろみ通信」の郵送作業や配布
- ◎講演会、学習会、上映会企画等の運営スタッフ
- ◎カンパ...などがあります。
- 通信の表紙タイトルの上にあります、メールにご連絡
くださると幸いです。



よろしく
お願いします！